

高松市立弦打小学校 体力向上プラン

学校教育目標

心豊かで たくましく よく学ぶ 子どもの育成

めざす弦打っ子 ～安全に 友だちみんなで 元気に遊び 体をきたえる子～

【本校の課題】

- 反復横跳び以外の種目は全国平均以下であり、特に、ソフトボール投げ、長座体前屈、立ち幅跳びの値は著しく低い。
- 休み時間に、外に出て遊ぶ子どもは多いが、遊ばない子もいる。
- 環境整備が充実しておらず、子どもが意欲的に遊ぼうとする環境が整っていない。
- 教員の体育研修機会も少なく、教員の中で体力を向上させなければいけないという意識が低い。

【現状】

休み時間は、外に出て遊ぶ子どもが少ない印象である。特に、短縮校時や週に2日は業間の休み時間が5分短くなっている場合は、ほとんどの子どもが外に出ていない。外で遊ぶ内容も、インサをする子が多く、直接的な体力の向上へとつながっていないといえる。

体育の授業においては、教師間・クラス間の差が大きく、一貫した体育指導が行えていない。

【取り組み】

安全運動委員会を主体とした、イベントの開催

子どもたちに問題提起をし、安全運動委員会でどんな活動をすれば、体力が向上するかを考えさせ、昼休みや行間にできるイベントを実施する。

環境整備

投力を向上させるために、昼休みの運動場や体育館の使い方を限定し、ドッジボールを積極的に取り組めるようにする。また、ソフトドッジボールをクラスに2つずつ割り当て、いつでも気軽にドッジボールができる環境を作る。また、コートを常設する。

体力づくり部会

今年度から、現職教育を3部会編成にし、体力づくり部会を設置し、子どもの体力向上や、健康教育の在り方等について、検討する。検討したことは、共通理解・共通行動できるよう子どもの具体的な姿で示すようにする。

体育授業の充実

現職教育等で実技講習会を実地したり、水泳前の研修を行うなどして、教師間で共通理解を図り、全体で取り組める体制を作る。

【目標】

- 投擲力の学校平均が香川の平均を上回るようにする。
- 1週間の総運動時間を10分以上伸ばす。
- ほとんどの児童が休み時間に外で元気に遊んでいる、活発な学校にする。